

行政評価シート(事後評価)

コード (49) 6-2-5	事務事業名 認知症高齢者徘徊位置探索機器貸与等事業	所管部課 福祉部高齢者支援課(旧保健福祉部高齢者支援課)
-------------------	------------------------------	---------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	認知症により徘徊のある高齢者に対し、位置情報専用探知器を貸与及び探索システムの利用に供することにより、徘徊高齢者の早期発見と安全の確保に役立て、介護者の精神的負担の軽減を図ることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等 徘徊高齢者を抱える世帯に徘徊探知機を貸し出し、小型端末機を所持した徘徊高齢者が行方不明になったとき、24時間365日オペレーターが待機するコールセンターで保護者からの依頼電話を受け付けて、端末機の電波発信場所を特定し、居場所や移動状態を把握し、発見・保護に至るまでの支援を行う。利用者負担金(新規)生活保護世帯・0%、0円、非課税世帯・3%、150円、課税世帯・10%、520円。(月額使用料)生活保護世帯・0%、0円、非課税世帯・3%、90円、課税世帯・10%、310円。	
事業開始時期	平成13年7月 年度	実施形態
		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)			696	871	765
財源	国庫支出金・都支出金	千円	484	607	503	633
	地方債					
	内: その他 (介護保険料)		50	62	220	260
内: 一般財源		162	202	42	211	
所要人員(B)	人		0.08	0.08	0.08	0.08
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		666	655	653	653
臨時職員等賃金(C')	千円		0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		1,362	1,526	1,418	1,757
単位当たりコスト						
(E)=(D)/ (貸与件数)	千円		75.7	69.4	70.9	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
		貸与件数	実績値	件	18	22	20
		実績値					
(指標の説明・数値変化の理由 など)							
	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	一 利用人数	目標値					
実績値		人		18	22	20	
二 介護者の精神的負担の軽減	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など)							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	利用高齢者が徘徊し、無事都内で発見された実績があり、大変喜ばれている。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 16区部・22市で同様なサービスを実施している。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

コード (49) 6-2-5	事務事業名 認知症高齢者徘徊位置探索機器貸与等事業	所管部課 福祉部高齢者支援課(旧保健福祉部高齢者支援課)
-------------------	------------------------------	---------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>従来は、インターネットでは位置探索は出来なかったが、平成19年度より可能になった。短時間で効率よく発見できるため介護者にとって大きなメリットになる。 高齢者の認知症徘徊は年々増加傾向にあるため、このままの継続が必要である。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>利用高齢者が徘徊し無事発見された実績があり、一定の効果は認められる。 平成19年度からインターネットでの位置探索が可能になったことによる状況把握及び評価をするとともに、年齢や非課税世帯等の適用要件についても検討されたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>今後も通信・ネットワーク技術革新の動向を踏まえ、効果的なシステム導入・活用に努力されたい。</p>